

三中校報



平成31年度 第11号
大島町立三中学校
校長 松島 睦磨
令和2年3月25日発行
電話 04992(4)0183
FAX 04992(4)1964
E-mail : 06T000@jzu-oshima.ed.jp

卒業式

校長 松島 睦磨

「今年も」卒業式が無事終了しました。ウイルス対策で異例づくしの式ではありましたが、卒業生の心情を思い、在校生・教職員全員が気持ちを精一杯込めて卒業を祝福しました。しかし、式は縮小実施のため、ご来賓に参加をご遠慮いただいたり、3学期の諸活動がほぼすべて中止になったため、地域の皆様への情報が限られてしまいました。予定では「球技大会」「三年生を送る会」「卒業遠足」等々、卒業生の生き生きとした活動をご紹介できるはずでしたがそれもかないません。

ついては、卒業式の情報として卒業生「答辞」・在校生「送辞」をご紹介することにしました。代表者は準備の時間を十分とれない中、それぞれの思いを精一杯伝えてくれました。どうぞご一読いただきたく存じます。

1年間本誌「三中校報」をお読みいただき重ねて御礼申し上げます。また、1年間、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

すでに入学式に向けて花の手入れも再開しました。来年度も第三中学校をどうぞよろしく願いいたします。

以下、校長式辞を抜粋してご紹介いたします。

平成31年度 第73回卒業式 式辞

保護者の皆さま、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。義務教育のすべての課程を終了するにあたり、いま、皆様の心の中には、お子様のこれまでの成長の過程が思い起こされているのではないのでしょうか。オリンピック発祥の地、ギリシャ・アテネでオリンピックが開催されたあの頃に誕生した子を、オリンピックが東京に帰るこの時まで15年間という年月、一日たりとも例外なく子育てを最優先にし、本日のよき日を迎えられた保護者の皆様に対し、心から敬意を表します。また、今回の休業措置に関しまして、深いご理解とご協力を賜りました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんが三中に残してくれたすべての実績と、引き継いでくれたすべての伝統に対し、第三中学校を代表して、心からのお祝いと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ほんとうにありがとう。

今年の卒業式は新型コロナウイルスの感染防止策のため、ご来賓の参加を見合わせていただくなど、例年に比べ縮小する形での挙行となりました。皆さんにとって一生に一度の中学校の卒業式であるにもかかわらず、このような形になってしまい、大人を代表して深くあやまります。ごめんなさい。

しかし、皆さんの卒業を祝う気持ちには、何ら変わりはありません。いや、こんな事態であるがゆえに、その気持ちはさらに強いものだということをおわかってください。

とはいえ、入試も学年末考査もすべて終わり、心の底から解放感に包まれて食べたあの給食が、突然最後の給食であることを告げられたとき、皆さんはどんな思いだったのでしょうか。

今まで心を込めて三年生を送ってきて、ついに自分たちのために後輩が作ってくれる三送会がなくなったことを知ったとき、皆さんはどんな思いだったのでしょうか。

球技大会もできませんでした。卒業遠足もできませんでした。部活のお別れ会もできませんでした。皆さんは中学校生活で最も楽しいといわれる約3週間を学校で過ごすことができませんでした。

しかし、残念ながらできなかったことはたくさんありますが、みなさんが大きな実績を三中に残してくれたこと。みなさんが、三千八百人を超える三中卒業生がつくりあげた三中の伝統を受け継ぎ、成長させて、後輩へつなげてくれたこと。この事実は決して変わりません。

そして、そんな皆さんを強く誇りに思っているたくさんの方がいることを忘れないでください。

三送会の準備を中断された1、2年生の気持ちを察してあげてください。

皆さんの楽しそうな顔を想像しながら卒業遠足の下見に行った翌日に休校を告げられた3年の先生方の気持ちを感じてあげてください。

卒業式ができるかどうか、わからない時期にもかかわらず、できることを信じて花を植え、水をやり続けた人の気持ちを感じてやってください。

大切な中学校生活の最後の数日を失って悲しい思いをしている皆さんのことをかわいそうに思い、いたたまれない気持ちで、あなたの背中を見つめる家族の心の中を皆さんは感じなければなりません。

皆さんのまわりにはたくさんの方の心からの「おめでとう」と「ありがとう」であふれかえっていることに気づいてください。

この「おめでとう」と「ありがとう」はみなさんがこれから、人生のそれぞれの新たな舞台でさらに大きく成長し、立派な社会人の資質を身に付けようとする皆さんへの何よりも強力な応援歌です。

光陰矢の如し

あっという間に過ぎ去り、二度と戻らない三中での日々が終わろうとしています。第三中学校は皆さんがこれからそれぞれの新たな人生のステップにおいて、さらに大きく成長してくれることを切に願っています。

令和2年3月19日

大島町立第三中学校長 松島睦磨

第73回卒業式 送辞



美しい椿の花も散り始め、三原の山は緑一色に染まろうとしています。
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。
今、皆様は、この第三中学校での3年間をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。

先輩方には、色々な場面で大変お世話になりました。部活動では、優しく、ときには厳しく、技術や目上の人との接し方、集団生活における規律の大切さを教えていただきました。都大会では、惜しくもレギュラーメンバーに入ることでできなかった先輩が、チームのために全力で声を出している姿を見て、これが本当のチームワークなんだと感じました。先輩方の率いていたチームは、今までの大島合同チームの中でも、最強で、最高のチームだったと思います。

たくさんの方々の行事の中でも、特に思い出深いのは、運動会です。3週間もの練習期間中、先輩方は常に私たちの先頭に立って、リーダーシップを発揮してくださいました。集中力と団結力で魅せる力強い組体操、見る人を楽しい気持ちにさせる女子ダンス、体全体を使って踊る民舞、そして最後に待ち受ける、徳野先生の鬼のランニング練習。毎日ヘトヘトになる大変な時間割でしたが、先輩方と一緒にだと、とても楽しい時間になりました。

時には、先輩方から注意を受ける事もありました。しかし、それは決して自分達のためではなく、僕たちに色々なことを教えるために、僕たちの成長のために、注意してくれていることがわかりました。その時、改めて、最上級生の大きさを感じました。また、駅伝大会も、心に残る思い出の一つです。誰ひとり弱音をはかず、練習から全力で取り組み切磋琢磨する姿が、本当に恰好よかったです。先輩方は、学校での練習の後も、自主的に練習をしていました。その姿を見て、先輩方と優勝し、都大会に行きたいという気持ちは日に日に大きくなっていきました。その想いが実り、正選手だけでなく、サポートメンバーや先生方、応援してくれた保護者・地域の方々が一つになって、昨年度果たせなかった、町駅伝での優勝を達成した瞬間は、言葉に表せないくらい、本当に嬉しかったです。他にも、文化祭や町水泳大会などの行事ごとに限らず、委員会活動や清掃など、日常の学校生活においても、先輩方は常に先頭に立ってまっさきに行動し、僕たちに模範を示してくださいました。共に過ごした数々の思い出は、とても語りつくせるものではありません。

第三中学校の良いところは、挨拶がしっかりできるところ、何事にも一生懸命なところ、学年関係なく仲の良いところ、元気で笑顔が多いところ。先輩方は、今日でこの第三中学校を卒業されますが、三中生であったことに生涯変わりはありません。これから先、それぞれが選んだ道を歩まれることと思いますが、三中魂をいつまでも忘れず、三中の卒業生であることを誇りに、新しい場所でもがんばってください。そしてこの大島町立第三中学校で築きあげた「絆」を宝とし、信念を持って未来を切り拓いていってください。いつも元気で前向きな先輩方なら、たとえどんな困難が立ちちはだかろうと、立ち止まることなく進んでいくことができると信じています。

僕たち在校生は、先輩方が受け継ぎ、発展させてきた三中らしさという伝統を大切に、今年度の三中に負けないうくらい素晴らしい学校を、新しく迎える一年生とともに、力を合わせ、全員でつくっていきます。僕たちは、先輩方のことが大好きです。新型コロナウイルスの影響により、先輩方の卒業を満足にお祝いすることができず、このような分かれ方になってしまったことが、本当に残念でありませんが、これから先も、先輩方のことを忘れる予定はありません。皆さんもどうか、僕たちと過ごしたこの三中での思い出を、いつまでも忘れないでいてください。

最後になりましたが、今まで僕たちを支え、導いてくださり、本当にありがとうございました。皆様のご健康とますますのご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和2年3月19日 在校生代表 田村ソワカ

第73回卒業式 答辞



春のあたたかさを感じる今日この頃、玄関を彩るリビングストーンやさくらなでこの花々は、燦爛と輝く太陽の光を受け、まるで今日という日を祝福してくれているようです。今日は私たちのために、このようにあたたかな卒業式を挙げてくださり、ありがとうございます。卒業生一同、心から御礼申し上げます。

思い返せば三年前の春、この体育館で入学式に出席してから、あっという間に月日が流れていきました。振り返ってみれば、実に多くのことがあった中学校生活でした。少し大きめの制服に身を包み、これから始まる中学校生活に期待と不安を抱えながら登校した一年生。初めての定期考査。運動会、町レク、駅伝大会、文化祭。勉強や行事に、一年生らしく一生懸命に取り組みました。右も左もわからない私たちに、目指すべき未来の姿を見せてくださった先輩方。その立派な姿は今でもはっきりと覚えています。

心身ともに成長し、中学生らしくなった二年生。先輩と呼ばれるようになり、後輩ができたことの喜びに浸ると同時に、さまざまな場面において役割と責任が増したことを実感しました。「先輩を支え、後輩を引っ張ることのできる二年生」という目標をもって学校生活に取り組みました。これからは自分たちが三中生を引っ張っていくのだという決意を固めた頃、憧れであり、目標であった先輩方との別れの時がきました。あの日、自然とあふれ出た涙を、私は今も忘れていません。

第三中学校最後の1年間は、一番苦労した年であり、一番楽しかった年であり、一番有意義な時間を過ごせた年でした。はじめは、三年生、受験生、最上級生という実感がわかず、先生方に心配をかけたこともありました。

三年生になって、初めての大きな行事は修学旅行でした。二年生の頃から準備を重ね、楽しみにしてきたみんなとの宿泊行事。古都京都・奈良の寺社仏閣に感銘を受けたことはもちろん、みんなで歩いた夜の祇園、足がしびれた座禅、班別自由行動、和順会館で語り合った夜、決して忘れることのできない3泊4日となりました。

修学旅行から帰ると、部活動では「引退」の時期が迫りました。泥だらけになりながら、必死に努力してきた野球部。「礼儀」「努力はうそをつかない」という言葉を胸に、チーム一丸となって練習を行いました。パスをつなぎ、グラウンドを駆け回ったサッカー一部。点差が開いても、誰一人あきらめず、ボールを追いました。たとえどれほどつらい練習でも、決してあきらめずに努力し続けたソフトテニス部。大きな声で仲間を励まし、一球一球全力で相手コートにボールを打ち込んでいました。何度も失敗し、叱られても決してあきらめずにボールに飛びつき、心をつないだバレーボール部。先輩がいなくて、

つらい試練も、顧問の先生方と、自分たちの力で乗り越えてきた成果が、都大会での好成績につながりました。コンサートや文化祭に向けて練習を積み重ねてきた音楽部。廊下や階段で一生懸命練習していた姿、そして文化祭での演奏は今でも心に残っています。全部活が下校時刻ぎりぎりまで、時間を惜しんで練習していたあの頃。あの日々は、私たちにとってかけがえのない、とても大切な時間でした。

夏休みに入ると、運動会の民舞披露に向けての練習が始まりました。はじめは、後輩たちに民舞をどうやって教えたらいいいのか悩み、苦勞することばかりでした。一・二年生は、積極的に質問に来て、一生懸命に練習に取り組んでくれました。本番では、男子は組体操、女子はダンスで、それぞれが一つのものをつくりあげ、感動を共有することができました。一年生・二年生・三年生全員が一つになって乗り越えられたからこそ、仲を深め、互いに大きく成長することができたと思います。

最上級生として、先輩方が代々繋いできた襷をつなぐために走った駅伝。二年生のときに負けた悔しさを胸に、優勝に向けて一人一人があきらめずに練習に取り組みました。脚が痛かったとき、苦しくて息ができなかったとき、もう止まってしまおう、とってしまったとき、私たちを支えたのはFOR THE TEAMの精神でした。本番は、全員がもてるすべての力を振り絞り、襷を繋ぎ、選手・応援、みんなで優勝という栄光を勝ち取ることができました。心の襷は第三中学校の伝統です。この先もずっと、この襷が繋がっていくことを信じ、今、みなさんに襷を託します。

最後の全校行事である文化祭。それぞれの学年が特徴を生かした劇を披露しました。一・二年生の劇の完成度の高さに驚くと同時に、感動したことをよく覚えています。三年生は、全員で最後の劇づくりを楽しみ、さらに絆を深めました。

文化祭を終え、気がつくとも高校入試が直前に迫っていました。想像以上に過酷な受験勉強の毎日に、気持ちが焦り、苛立つこともありました。そのようなとき、そばで励ましてくれた友達、「平常心」と言ってくれた先生方、遅くまで起きて応援してくれた家族の存在はとても大きく、私たちは本当に多くの人に支えられているのだと、改めて実感しました。

在校生のみなさん。私たちの受験に際し、あたたかい、心のこもったメッセージと達磨を贈ってください、本当にありがとうございます。応援のおかげで、三年生は全員、志望校に合格することができました。そして本日、みなさんの達磨に、めでたく目を描き入れることができました。



これからの第三中学校は、みなさんに任せます。中学校生活は、楽しいことだけでなく、壁にぶつかることも多くあります。くじけそうになったときには、周りを見てください。そこにはいつも自分のことを応援してくれている人がいます。支え合い、助け合っていけば、どんなに大きな壁も乗り越えられるはずです。互いに切磋琢磨していける三中生になってください。

私たちがいつでも見守ってくださった先生方。理解できるまで丁寧に教えてくださったおかげで、あきらめないで勉強を続けることができました。私たちの可能性を信じ、最後まで応援してくださった先生方のおかげで、全員が希望の進路を叶えられました。また、先生方には勉強よりも大切なことをたくさん学びました。先生方に出会えたことは、私たちにとって大きな財産です。本当にありがとうございます。



三年生のみんな。小学生の頃から一緒に、一緒にいることが当たり前だと思っていました。廊下を走って先生に叱られた人。休み時間の短い時間に読書をする人。窓から空をずっと見ている人。教室の黒板に落書きをする人。個性豊かなみんなでしたが、行事ではどの学年にも負けないほど団結しました。そんなみんなと過ごした学校生活は、毎日が楽しくて楽しくて仕方ありませんでした。数えきれないほどの思い出を共有できる友達と出会ったことに、僕はとても感謝しています。たくさんの笑顔をありがとうございます。たくさんの特別な思い出をありがとうございます。ほかの誰かではなく、みんなとだからこそ、今日を迎えられました。

そして、私たちが誰よりも感謝を伝えたい人。それは、私たちがいつもそばで支えてくれたお父さん。お母さんです。改めてこの3年間を振り返ると、僕の家での生活はいつも甘えてばかりでした。わがままを言い、うまくいかないことへの不満もたくさんもらいました。そんな僕を、どんな時にもあたたかく励まし、支え続けてくれました。3年前「中学校三年間なんてあっという間だよ。」そう話してくれましたね。本当にあっという間でした。しかし、その3年間は、私たちにとって、一瞬一瞬が記憶に残る、かけがえのない大切な時間となりました。それは、お父さん、お母さんがいつもそばで見守ってくれたおかげです。今日、こうして元気に、大切な仲間たちと卒業式を迎えられたのも、私たち一人一人が、毎日大切に育てられてきたおかげです。話を聞いてくれて、おいしいご飯やお弁当をつくってくれて、部活の応援に来てくれて、いつもそばで応援してくれて、本当にありがとうございます。この先も、たくさん心配をかけると思いますが、これからも私たちがよろしく願います。

楽しみにしていた3月。全員の進路が決まり、三中での最後の生活を、仲間とともにしみじみながら過ごすはずでした。一・二年生や先生方が準備を重ねてくれた三送会も、球技大会も、卒業遠足も、今まで当たり前のように過ごしていた休み時間や、給食の時間も、最後の学年集會も、すべて実現はかないませんでした。そして、世界にはきっと私たちと同じような想いをしている人たちがいます。しかし、学校に来られなくても、私たちの心の中には、いつも大切な人たちが寄り添ってくれています。私たちには、たくさんの苦樂をともにしてきたかけがえのない仲間、支えてくださる先生方、そして大切な家族がいます。一刻も早く世界が平安を取り戻し、これまで通りの学校生活が戻ってくることを祈り、私たちは前を向き、生きていきます。

私たちは本日、この第三中学校を巣立ちます。思いやりのある三年生、尊敬される三年生、惜しまれる三年生に私たちはなれたのでしょうか。また、かわいがられる三年生になれたのでしょうか。今、私たちの中にある気持ちが、三中の伝統、そして、今後の人生につながります。今日の別れは新しい出会いへの第一歩です。私たちは、夢と希望を胸に、自分の足で、自分たちの道を歩いていきます。

目を閉じると、この第三中学校での数えきれない思い出たちが、まるで走馬灯のように私の頭の中を駆け巡ります。忘れがたき、第三中学校での思い出を胸に、私たちは、愛する第三中学校を巣立ちます。

また会うその日まで。3年間、本当にありがとうございました。



4月行事予定

第三中学校は自力登下校を推奨しています

(令和2年3月25日現在)

日	曜	行 事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	着任式・始業式・入学式
7	火	対面式
8	水	一斉計測
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	認証式 避難訓練
14	火	腎臓検診1次
15	水	町教育研究会(給食後下校)
16	木	学力テスト(1・2・3)
17	金	学校公開、保護者会全体会
18	土	大島町体育祭野球大会(中学生の部)
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	腎臓検診2次
23	木	
24	金	生徒総会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	昭和の日
30	木	小中合同職員紹介、内科検診



着任式・始業式・入学式 4月6日(月)

令和2年度のスタートになります。新2・3年生は、先輩として新入生を迎え、新たな第三中学校のスタートです。11名の新1年生が入学予定です。総勢33名での船出の予定です。保護者・地域の皆様、令和2年度も第三中学校をよろしくお願いいたします。

対面式 4月7日(火) 5・6校時

新入生に対して、生徒会役員が中心となり、三中の授業や生徒会、部活動のことなど、中学校生活について詳しく紹介します。

新入生に1日でも早く中学校生活に慣れてもらい、一緒に充実した日々を過ごして欲しいと新2・3年生が準備を進めています。

4月17日(金)

学校公開 1～5校時

第三中学校では令和2年度も保護者と地域と一体となって生徒の健全育成に努めてまいります。令和2年度最初の学校公開日です。地域の皆様も授業を是非ご覧ください。

保護者会全体会

年度初めの保護者会も行います。令和2年度の教育方針等についてご説明をします。保護者の皆様、参加をお願いします。

<5月の予定>

11日(月)～19日(火) 家庭訪問(1)
15日(金)～17日(日) 修学旅行始(3)
15日(金)福祉訪問(2)
15日(金)校外学習(1)
18日(月)修学旅行振替休業日(3)

23日(土)(土曜活用日)小中合同防災教室・引き取り訓練
27日(水)・28日(木)中間考査